

# 令和元年度の森林環境譲与税の使途について

産業建設課

## 1 森林環境譲与税の活用の効果

本村は、総面積の96%が山林であり、魚梁瀬杉に代表される良質な木材産地として、古くから林業の村として栄えてきました。このような背景から、本税についても積極的に活用し、森林整備や木材の普及・啓発を強力に推進していきたいと考えています。

令和元年度においては、主に森林管理の意向調査およびイベントによる普及啓発活動に活用し、残額は、令和2年度以降の意向調査、村の森林経営管理事業を実施するための事業費を確保するために基金への積立をおこないました。

なお、令和2年度には、新たに以下の事業への活用を計画しています。

- ・担い手の確保対策支援
- ・重要インフラ周辺施設整備
- ・木製品の販売対策事業

## 2 森林環境譲与税の使途の内容

(1) 歳入 単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	7,616
村費	500
計	8,116

(2) 歳出（使途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R1森林環境譲与税	他の財源		
森林経営意向調査業務委託料	1,367	1,367		優先して整備が必要な森林の洗い出し、森林所有者に対する説明会を実施するとともに、優先して整備が必要な森林の所有者に対し、森林管理の意向調査を実施。	面積：163.95ha 説明会：1回（参加者 15名）
山師達人選手権大会補助金	1,700	1,200	500	森林・林業に親しみ、山や環境への関心を深めてもらうことを目的として開催するイベントへ補助。	実施回数：1回 参加者：約250名（うち競技参加者 140名）
森林環境譲与税基金	5,049	5,049		令和2年度は、650haについて意向調査を実施する予定としている。 令和3年度以降の意向調査、村森林経営管理事業を実施するための事業費を確保するために基金への積立をおこなう。	
計	8,116	7,616	500		